

HIDESの現状と今後

泉浦秀行(国立天文台岡山)

1)この1年(観測面)

- ◇標準共同利用装置として2年目に突入(PI装置期も含め3年目)
- ◇プロジェクト観測: 初期成果公表(=>竹田氏の口頭報告)
- ◇時間軸方向の観測: (岡山の枠組みを変える観測形態)
 - ・G型巨星惑星探査(=>佐藤氏のポスター報告)
 - ・星震学への挑戦(=>神戸氏のポスター報告、年末にも15夜)
- ◇広がった輝線天体の観測: (=>大塚氏の口頭報告)
 - ・イメージロテータの設置
 - ・狭帯域フィルタの導入

2)この1年(装置面)

- ◇ユーザーインタフェース: CCDとSpの制御統合度の向上
- ◇観測室: 1階へ移転、静かな環境へ(=>増田氏の口頭報告)
- ◇温度安定性: 最良で0.1 pix/nightに到達
 - ・Mfrontの排熱を改善した
 - ・もう一段の努力で常時0.1pix/nightへ到達可能
- ◇生データの保持・保存: DVD-RAMへ記録・保持

3)現状の問題点

- ◇CCD制御(Messia-III)： Port Set Error (Link Failure)
 - ・対症療法=>リセットスイッチを手元へ、ボードへ冷風送風
 - ・根本療法=>Messia-IVか-Vへの移行。
- ◇イメージローテータ： 光軸ブレ
 - ・光軸調整方法と治具の改良

4)今後の予定、目標

- ◇データアーカイブ： 10月下旬にSMOKAへ組み込み検討開始
- ◇CCD制御： MessiaIVを10月下旬に実機組み込みテスト
- ◇ソフトウェア整備： 計画遅延中（フォーカシング、シミュレータ）

- ◇CCDモザイク化： 計画遅延中

- ◇CCD真空容器： 計画遅延中

- => 実現のため、2003年後期のあたりで運用を数ヶ月停止する可能性

5)お知らせ

- ◇HIDES共同利用3周年記念小研究会計画中(下津井?):
 - ・3年間のHIDESによる観測の総括
 - ・HIDESのデータ処理のノウハウ交換
 - ・HIDESの今後について
 - ・分光観測研究の今後の活動方針
 - ・その他

以上